

大人の風しんワクチン予防接種説明書（必ずお読みください。）

毛呂山町では、先天性風しん症候群発生予防のため、大人の風しん予防接種費用の一部助成を行います。ご希望の方は、この説明文書をよくお読みになり、医師と相談のうえ接種を受けてください。

《風しんによる感染症とワクチンについて》

風しんは、風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。潜伏期間は2～3週間です。軽いかぜ症状ではじまり、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。そのほか、眼球結膜の充血もみられます。発疹も熱も約3日間で治るので「三日ばしか」と呼ばれることがあります。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。血小板減少性紫斑病は患者3,000人に1人、脳炎は患者6,000人に1人くらいです。大人になってからかかると重症になります。

妊婦が妊娠早期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる先天性の心臓病、白内障、聴力障害、発育発達遅延などの障害を持った児が生まれる可能性が非常に高くなります。

《接種対象者》

接種時点で毛呂山町に住民登録がある方で、①～③のいずれかに該当する方。

- ①妊娠を希望する16～50歳未満の女性
- ②①の配偶者（事実婚を含む）で風しん抗体価が低い人
- ③妻が妊娠中の夫（事実婚を含む）

※ただし、過去に風しんにかかったことが明らかな人、または風しんワクチン又は麻しん風しん混合ワクチンの接種回数が2回以上の人は除きます。

《接種前の注意事項》

妊娠中の女性はワクチンを接種することができません。接種する場合には、あらかじめ1か月間避妊をすることがすすめており、接種後は2か月間避妊が必要です。これまで世界的にみても、ワクチン接種による先天性風疹症候群の患者さんの報告はありませんが、その可能性が理論的に全く否定されていないわけではないので、接種前の注意が必要です。また、接種を受けた方から周囲に感染することは通常ないと考えられているため、妊娠中の女性に接触する可能性のある方が接種しても心配はいりません。

過去の風しん予防接種回数や風しんへの感染が不明な場合で、すでに免疫を持っている方が再度接種を受けても、特別な副反応が起こるなどの問題ははありません。

《自己負担額》

町補助金を差し引いた、自己負担金「麻しん風しん混合(MR)ワクチンは5,500円」または「風しん単独ワクチンは3,500円」を医療機関の窓口でお支払いください。

《助成期間》

令和4年3月31日まで

《接種の流れ》



- ① 保健センターに申請書を提出し、「毛呂山町風しん、麻しん・風しん混合予防接種予診票」を受け取ってください。
- ② 町指定医療機関に予防接種の予約をしてください。
- ③ 予約した医療機関に「予診票」等を持参し、予防接種を受けてください。

《接種を受けるときに必要な書類と指定医療機関》（指定医療機関以外では助成は受けられません）

必要書類：①毛呂山町風しん、麻しん風しん混合予防接種予診票、②健康保険証、③診察券（お持ちの方）

※ いずれも予約制です。

医療機関名	所在地	電話	医療機関名	所在地	電話
埼玉医科大学病院	かかりつけの方のみ		街かどのクリニック	毛呂山町川角 7-1	298-5357
おっぺ小児科アレルギー科クリニック	毛呂山町若山 1-8-7	295-5550	ゆずの木台クリニック	毛呂山町中央 2-5-5	295-5158
ハピ 社会川角クリニック	毛呂山町下川原 171	295-3959	市川医院	越生町越生 981	292-3011
長瀬クリニック	毛呂山町川角 94-2	295-0708	越生メディカルクリニック	越生町黒岩 199-1	277-1119
初野医院	毛呂山町長瀬 1850	294-7713	かあいファミリークリニック	越生町上野 1025	299-6222
HAPPINESS 館クリニック	毛呂山町毛呂本郷 1006	276-1832			

ご注意

お渡しする「予診票」は、毛呂山町に住民登録があり《接種対象者》に該当する方が助成対象となります。**毛呂山町から転出した場合や、対象年齢及び助成期間を過ぎてしまう**と利用できなくなりますので、ご注意ください。転出した場合などは、「予診票」を保健センターまで**返却してください**。

予防接種後の副反応

《風しんを含むワクチンの副反応》

麻しん風しん混合ワクチンを初めて受ける場合は、子どもでも大人でも接種後7～10日ごろに熱が出る場合があります。また同じところに発疹が出る場合がありますが、通常数日で治ります。2回目以降の場合は、発熱や発疹がみられることは稀です。子どもを対象としたこれまでの調査では接種後5～14日に発熱(4.5%)、発疹(1.3%)、リンパ節の腫れ(0.6%)が報告されていますが、通常数日の経過で自然によくなります。成人女性にワクチンを接種した場合、子どもに比べて関節炎の発症頻度が高いと言われていますが、この場合も数日から1週間程度で自然に治ります。また、稀(100万人に1人程度)に血小板減少性紫斑病や脳炎がみられます。

予防接種をうけられない方

- ① 明らかに発熱(37.5℃以上)している方
- ② 重い急性疾患にかかっている方
- ③ これから受けようとするワクチンの成分によって重いアレルギー反応を起こしたことがある方
- ④ 生ワクチンを接種して27日以内の方
- ⑤ 現在、妊娠している場合
- ⑥ その他、医師が不適当な状態と判断したとき

予防接種前に医師によく相談しなければならない方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患のある方
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことのある方
- ③ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、もしくは近親者に先天性免疫不全の方がいる方
- ⑤ これから受けようとする予防接種の成分にアレルギーを起こすおそれのある方



接種後の注意

- ① 接種後、重いアレルギー症状が起こる事があるので、すぐに帰宅せず30分間は安静にしてください。また、接種後4週間は副反応の発生に注意し、強い痛みがある場合や痛みが長く続いている場合など、気になる症状があるときは医師にご相談ください。
- ② 接種後は接種部位を清潔に保ち、こすらないようにしましょう。
- ③ 接種当日は安静に保って過度な運動を控えましょう。接種当日の入浴は差し支えありません。

予防接種健康被害救済制度について

この予防接種により健康被害が発生した場合は、予防接種法に基づく救済は受けることができません。健康被害が発生した場合は毛呂山町予防接種事故災害補償規則か、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による医薬品副作用被害救済制度により救済される可能性があります。支給額は予防接種法に基づく救済とは異なりますので、詳細についてや、給付申請の必要が生じた場合などは保健センターまでお問い合わせください。

なお、この予防接種は、予防接種法に基づかない、任意の予防接種です。上記のような説明をご理解のうえ、本人の希望のもと、医師の判断により、接種が行われるものになります。